

ハネール

9月



デュラララ!! 成田良悟

「いーざやーくーん、あーそーびーましょ☆」
というセリフが有名だったりする、池袋の(クセがやたら強い)表社会と裏社会の人間たちの愛と欲望とカオスを描いた物語それがデュラララ!!

最初に言っておくと、この物語は登場人物が多い上、複数の陣営が活躍する群像劇である。「誰ですか、主人公は」と思うくらい多い。なんなら、もう3人はいるんじゃないだろうか。

また、この作品を読んだ読者はきっと先入観が強くなりがちだと思う。「怪しくない人物が実は事件の犯人」というお決まりのパターンは名探偵コナンを始め多くの作品でのあるあるになりつつあるが、この作品もその要素が強めになっており、もはや誰を信じて良いのかわからないレベルである。

そして、一部キャラの本性が現れた時のギャップが強い。別作品に例えると「ひぐらしのなく頃に」や「あなたの番です」並である。

上記に挙げた特性を持つキャラたちが、ほぼ全ての話でドンパチしたり、謎のキーアイテムを巡って複数のグループによる抗争が起こったり、とても忙しい。きっと、未来予知でも使わないと先の展開がわから

ないだろう。 このように、面白い要素が多い作品なので読むことをお勧めする。

推薦者 2年6組 池田 峻

向日葵の咲かない夏 道尾秀介

夏休みを迎える終業式の日。

先生に頼まれ、欠席した「S君」の家を尋ねた「僕」。尋ねた家の 中に入ると、S君は首を吊って死んでいた。だがその衝撃もつか の間、S君の死体は忽然と消えてしまう。しばらく経って、S君は あるものへと姿を変えて僕の前に現れた。「僕は殺されたん だ。」と訴えながら。僕は、妹のミカとS君の無念を晴らすため、不可解な事件の謎に迫っていく。

少し奇妙で奥深いもう一つの夏休みの思い出がここに。

推薦者 1年5組 岡本琴音





例年より短い夏休みが終わりました。今年は文化祭と体育祭も中止となってしまいましたが、二大イベントがなくなってしまった時期だからこそ、日常に新たに読書を取り入れてみてはいかがでしょうか。今年は文化祭で図書委員が運営する古本市もありませんが、ハネールは引き続き発行するので、読んでいただくと嬉しいです。



あと少し、もう少し 瀬尾まいこ

市野中学は男子駅伝で毎年県大会に出場していた。それは、鬼のような陸上部顧問である満田先生のお陰であった。そんな陸上部の部長に、榊井がなった年、満田先生が異動となってしまった。新しく来た顧問はまさかの美術教師。しかも陸上のことは何も分からないと言う。

絶望的な中学校最後の駅伝に向けて、メンバーを募り、練習を始めるが…。

寄せ集めである6人が県大会を目指して櫂をつなぐ。

メンバーそれぞれの想いや過去が綴られ、涙なしには読めない作品です。

推薦者 1年1組 直江香音



青くて痛くて脆い 住野よる

青くて痛くて脆い

住野よる

人にあまり近づきすぎないように生活している田端楓は大学一年の春、誰よりもまっすぐで純粹だけど、空気の読めない発言で周囲から浮いている秋吉寿乃と出会う。ひとりぼっちの2人は「モアイ」という秘密結社をつくった。

それから3年後、かつての「モアイ」は全く別の集団に変わってしまい、秋吉はもういない。自分たちがつくった「モアイ」を取り戻すため、友人と後輩の力を借りて、田端の攻撃が始まる……。

今まで読んだ事がない青春小説。読み始めたら止まらない！

推薦者 1年4組 阿部 日菜

